

「景気は徐々に回復基調へ」5割超す

計工連、05年秋「景気・業況・施策等」に対する会員の意見調査結果まとまる

【概要】
実質国内総生産（GDP）伸び率が4四半期連続のプラス成長となり、景気は回復傾向にある。調査回答も半数以上が景

調査結果

9%）
同10億円以上：24社（27%）
同5000万円以上1億円未満：21社（24.4%）、
同1億円以上10億円未満：14社（16.3%）、
同10億円以上：24社（27%）

調査の概要

▽調査期間 2005年10月13日～11月17日▽調査対象 法人（企業）会員110社▽回答者 86社（回収率78.2%）▽回答者規模別 資本金2500万円未満：15社（17.4%）、同2500万円以上5000万円未満：12社（14.0%）、同5000万円以上1億円未満：21社（24.4%）、同1億円以上10億円未満：14社（16.3%）、同10億円以上：24社（27.9%）

7割以上が構造改革進展と予想

（社）日本計量機器工業連合会（計工連、宮下茂会長）は、「景気・業況・施策等に対する会員の意見調査」の結果を発表した。同会が法人会員を対象に定期的に行っている調査で、今回は2005年10月から11月にかけて実施した。調査対象110社のうち86社から回答を得た（回収率78.2%）。業況を「良い」「やや良い」と答えた企業の合計が半数を超えた。景気動向も「徐々に回復基調になる」とした回答が全体の53.5%を占め、「ほぼ現状で推移する」の43.0%を上回った。



【景気動向について】
「徐々に回復基調になる」とした回答が全体の53.5%を占め、前回調査の27.0%から大幅に増加している。
【6カ月後の経済諸指標の見通しについて】
公共投資を除いて現状より「増加」「上昇」（民間設備投資、株価、もしくは「横ばい」から「増加」「上昇」（住宅投資、個人消費、雇用所得、製品価格、土地価格、輸出、輸入、金利）とする回答が多い。

為替は「横ばい」が半数で残りが「円高」「円安」とほぼ同数に分かれた。規制緩和等の構造改革は「進展」するとの回答が72.1%となっている。

【会員企業の業況について】
前調査（04年10月～05年3月）では「非常に良い」「良い」「やや良い」は合わせて45.9%、「横ばい」「31.8%」、「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計が21.1%であり、業況が向上傾向にあることがうかがえる。05年下半期（05年10月～06年3月）、06年上半期（06年4月～9月）の予想は「良い」「やや良い」が合わせてそれぞれ58.1%、59.3%となり、引き続き良い方へ推移するとの回答が多くなっている。

【生産売上高について】
05年4月～9月の実績は「増加」が45.3%と最も多く、「不変」40.7%、「減少」14.0%であった。前回調査とほぼ同様の結果となっている。05年10月～06年3月の予想は、「増加」するが52.3%と増え、「減少」は5.8%と激減している。

薄くて軽いトラック用
マットスケール 20t
日本ダイナマット株式会社
東京都板橋区向原2丁目23番8号
TEL 173-0036 FAX (03) 5965-2011
http://www.matscala.co.jp/index.htm

公共投資、民間設備投資、住宅投資、個人消費、雇用所得、株価、製品価格、土地価格、輸出、輸入、為替、金利、規制緩和等の構造改革、の経済諸指標12項目について、それぞれ先行き6カ月後



計測と科学
日本計量新報社
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5561-1111 FAX 03-5561-1112

Yamato
業界初の薄型電子台秤
装着で作業効率アップ
デジタル式上皿自動はかり
"UDS-1V/1VD"
天和量衡株式会社
電話 076-918-8877

MRA IAJapan JCSS 0165
分銅・おもりのJCSS校正と各種精密分銅の供給メーカー
JCSS校正は短納期且つ適正価格で行います。
株式会社 大正天びん製作所
TEL 0298-43-7021 FAX 0298-43-8150
http://www.taisho-balance.co.jp

OIML分銅
普通分銅
まくら型分銅
〒304-0031 茨城県下妻市高道根4219-2
TEL 0298-43-7021 FAX 0298-43-8150
http://www.taisho-balance.co.jp

今週の主な記事
計工連「景気・業況・施策等」に対する会員の意見調査発表
経済統計を見る景況
経営アンケート(4) あいち座談会(3)
計量関係機関・団体長年頭あいさつ(3)
講演会、会議のお知らせ
計量各界の新年交歓会(2)
私の履歴書 齊藤勝夫(103)、社説、計量ひとくちメモ
新製品 ニュー入、インダ社社長年頭所感、ほか

新年特集号第4集

変「45.3%、「悪化」19.8%で、前回調査とほぼ同様の結果である。05年10月～06年3月の予想は「好転」46.5%と11.6%増えている。
【技術開発について】
取り組みの内容（重複回答可）では「既存製品の関連分野」が45.9%（のべ56社）、「既存製品の分野の高付加価値化」が45.1%（のべ55社）と最も多く、「技術力」32.4%（のべ33社）、「研究開発資金」9.8%（のべ10社）の順となっている。（次号以下につづく）